マルチメディア

ユーザーズ ガイド

初版 2007 年 3 月

製品番号：435750-291

このガイドについて

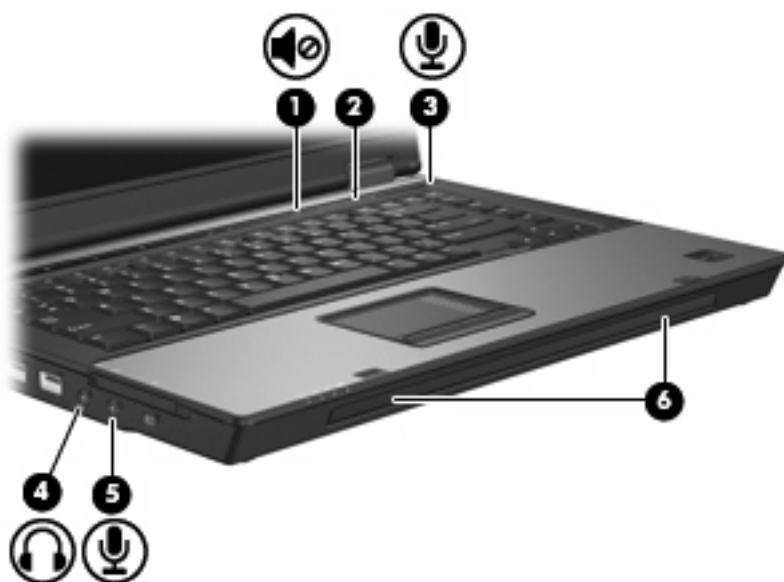
このユーザ ガイドでは、ほとんどのモデルに共通の機能について説明します。 一部の機能は、お使いのコンピュータで対応していない場合もあります。

目次

1　マルチメディア ハードウェアの使用

オーディオ機能の使用

次の図と表で、お買い上げのコンピュータのオーディオ機能について説明します。

注記：　お使いのコンピュータに最も近い図を参照してください。

名称		説明
(1)	ミュート ボタン	コンピュータのサウンドを消音（ミュート）および復元します
(2)	音量スクロール ゾーン	スピーカの音量を調整します。 指を左にスライドさせると音量が下がり、右にスライドさせると音量が上がります。 スクロール ゾーンのマイナス記号をタップして音量を下げたり、プラス記号をタップして音量を上げたりすることもできます
(3)	内蔵マイク	サウンドを録音します
(4)	オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ	別売の電源付きステレオ スピーカ、ヘッドフォン、イヤフォン、ヘッドセット、テレビ オーディオなどを接続します
(5)	オーディオ入力（マイク）コネクタ	別売のコンピュータ用ヘッドセットのマイク、ステレオ アレイ マイク、またはモノラル マイクを接続します
(6)	スピーカ（×2）	サウンドを出力します

名称		説明
(1)	オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタ	別売の電源付きステレオ スピーカ、ヘッドフォン、イヤフォン、ヘッドセット、テレビ オーディオなどを接続します
(2)	オーディオ入力（マイク）コネクタ	別売のコンピュータ用ヘッドセットのマイク、ステレオ アレイ マイク、またはモノラル マイクを接続します
(3)	スピーカ（×2）	サウンドを出力します

オーディオ入力（マイク）コネクタの使用

コンピュータには、ステレオ アレイまたはモノラル マイクをサポートするステレオ（デュアル チャネル）のマイク コネクタが装備されています。マイクを接続して録音ソフトウェアを使用すると、ステレオ録音が可能になります。

マイクをマイク コネクタに接続する場合、3.5 mm プラグのマイクを使用してください。

オーディオ出力（ヘッドフォン）コネクタの使用

警告！ 突然大きな音が出て耳を痛めることがないように、音量の調整を行ってからヘッドフォン、イヤフォン、またはヘッドセットを使用してください。

注意： 外付け機器の損傷を防ぐため、モノラル チャネル コネクタをヘッドフォン コネクタに差し込まないでください。

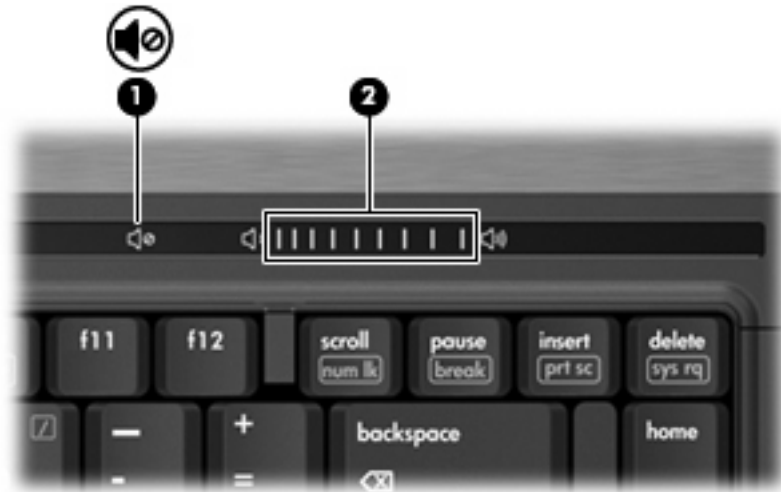
ヘッドフォン コネクタはテレビやビデオ デッキなどのオーディオ/ビデオ デバイスのオーディオ入力機能の接続にも使われます。

ヘッドフォン コネクタへの接続には 3.5 mm のステレオ プラグ以外は使用しないでください。

ヘッドフォン コネクタに機器を接続すると、スピーカは無効になります。

音量の調整

次の方法で音量を調整できます。

- コンピュータの音量ボタン（一部のモデルのみ）：
  - 消音（ミュート）したり音量を元に戻したりするには、ミュート ボタン（**1**）を押します。
  - 音量を下げるには、音量スクロール ゾーン（**2**）で指を右から左にスライドさせます。
  - 音量を上げるには、音量スクロール ゾーン（**2**）で指を左から右にスライドさせます。

- Windows®の[ボリューム コントロール]：

  a. タスクバーの右端にある通知領域の**[音量]**アイコンをクリックします。

  b. スライダを上下に動かして、音量を上げたり下げたりします。**[ミュート]**チェック ボックスにチェックを入れて、音量を消音します。

  -または-

  a. 通知領域の**[音量]**アイコンをダブルクリックします。

  b. **[ボリューム コントロール]**列で音量スライダを上下に動かして、音量を上げたり下げたりします。バランスの調整やミュートを行うこともできます。

  [音量]アイコンが通知領域に表示されない場合は、以下の手順で操作して表示します。

  a. **[スタート]**→**[コントロール パネル]**→**[サウンド、音声、およびオーディオ デバイス]**→**[サウンドとオーディオ デバイス]**→**[音量]**タブの順に選択します。

  b. **[タスクバーに音量アイコンを配置する]**チェック ボックスにチェックを入れます。

  c. **[適用]**をクリックします。

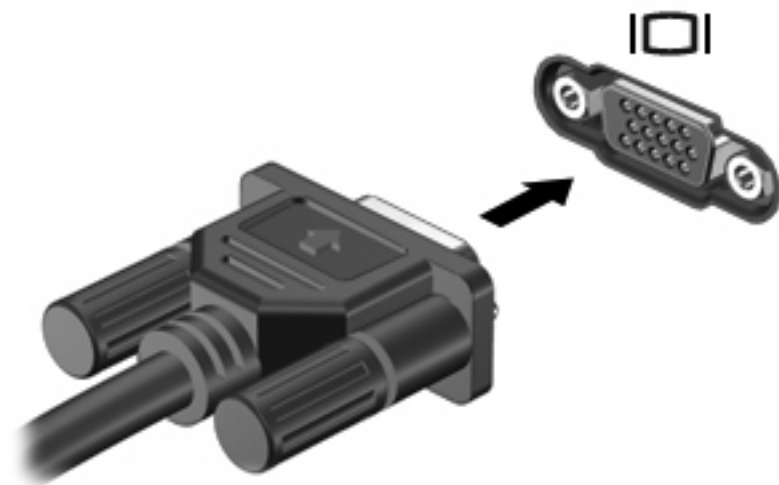
- 音量調整のプログラム

  プログラムによっては、音量調整機能を持つものもあります。

ビデオ機能の使用

外付けモニタ ポートの使用

外付けモニタ ポートは、外付けモニタやプロジェクタなどの外付けディスプレイ デバイスをコンピュータに接続するためのポートです。

ディスプレイ デバイスを接続するには、デバイス ケーブルを外付けモニタ ポートに接続します。

注記： 正しく接続された外付けディスプレイ デバイスに画像が表示されない場合は、fn ＋ f4 キーを押して画像をデバイスに転送します。 fn ＋ f4 キーを繰り返し押すと、表示画面がコンピュータ本体のディスプレイと外付けディスプレイ デバイスとの間で切り替わります。

S ビデオ出力コネクタの使用（一部のモデルのみ）

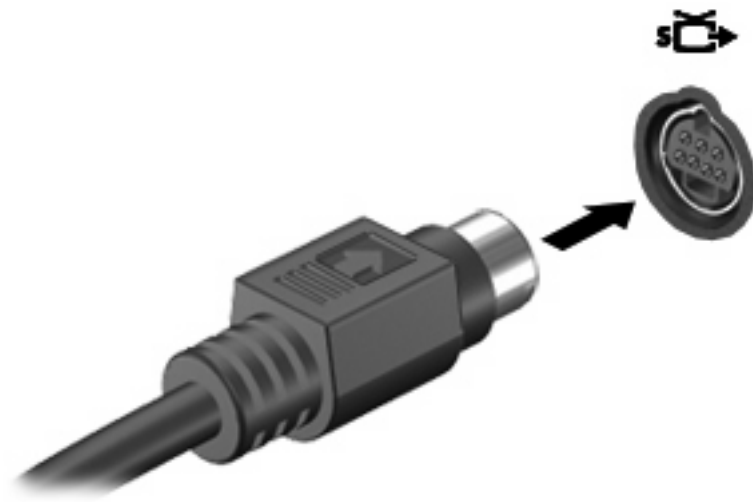
このコンピュータの 7 ピンの S ビデオ出力コネクタには、テレビ、ビデオ デッキ、ビデオ カメラ、オーバーヘッド プロジェクタ（OHP）、ビデオ キャプチャ カードなどの別売の S ビデオ機器を接続できます。

S ビデオ出力コネクタ経由でビデオ信号を送信するには、一般の電化製品販売店で入手可能な S ビデオ ケーブルが必要です。DVD の動画をコンピュータで再生してテレビに表示するなど、オーディオ機能とビデオ機能を組み合わせる場合は、ヘッドフォン コネクタに接続するため、一般の電化製品販売店で入手可能な標準のオーディオ ケーブルも必要です。

このコンピュータの S ビデオ出力コネクタには、1 台の S ビデオ機器を接続できます。その際、コンピュータのディスプレイとその他のサポートされている外付けディスプレイに、画面を同時に表示できます。

注記： S ビデオの接続では、コンポジット ビデオ接続よりも高い画質が得られます。

ビデオ機器を S ビデオ出力コネクタに接続するには、以下の手順で操作します。

1. S ビデオ ケーブルの一方の端をコンピュータの S ビデオ出力コネクタに接続します。

注記： コンピュータを別売のドッキング デバイスに装着しているためにコンピュータの S ビデオ出力コネクタを使用できない場合は、ドッキング デバイスの S ビデオ出力コネクタに S ビデオ ケーブルを接続します。

2. ビデオ機器に付属の説明書に従って、ケーブルのもう一方の端をビデオ機器に接続します。

3. コンピュータに接続されているディスプレイ デバイス間で画面を切り替えるには、fn + f4 キーを押します。

オプティカル ドライブの使用

オプティカル ドライブを使用して CD や DVD の再生、コピー、または作成が可能です。ただし、取り付けられているドライブの種類やインストールされているソフトウェアにより、可能な作業は異なります。

取り付けられているオプティカル ドライブの確認

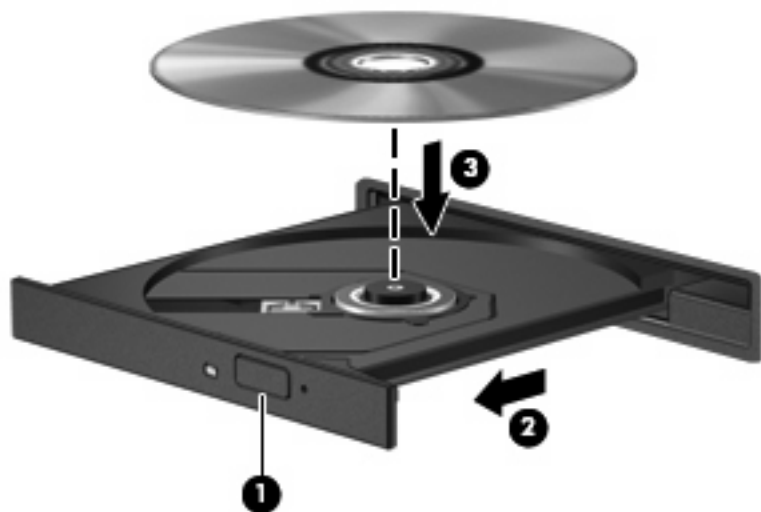
▲ **[スタート]**→**[マイ コンピュータ]**の順に選択します。

コンピュータに取り付けられているオプティカル ドライブの種類が[リムーバブル記憶域があるデバイス]に表示されます。

オプティカル ディスクの挿入

1. コンピュータの電源を入れます。
2. ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン（**1**）を押してメディア トレイを開きます。
3. トレイを引き出します（**2**）。
4. ディスクは平らな表面に触れないように縁を持ち、ディスクのラベル面を上にしてトレイの回転軸上に置きます。

   注記： トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて回転軸の上に置いてください。

5. ディスクが確実にはまるまで、トレイの回転軸上にディスクをゆっくり押し下げます（**3**）。

6. メディア トレイを閉じます。

注記： ディスクを挿入した後、少し時間がかかりますが、これは通常の動作です。 初期設定のメディア プレーヤを選択していない場合は、[自動再生]ダイアログ ボックスが開き、メディア コンテンツの使用方法を選択するように要求されます。

バッテリ電源または外部電源使用時のオプティカル ディスクの取り出し

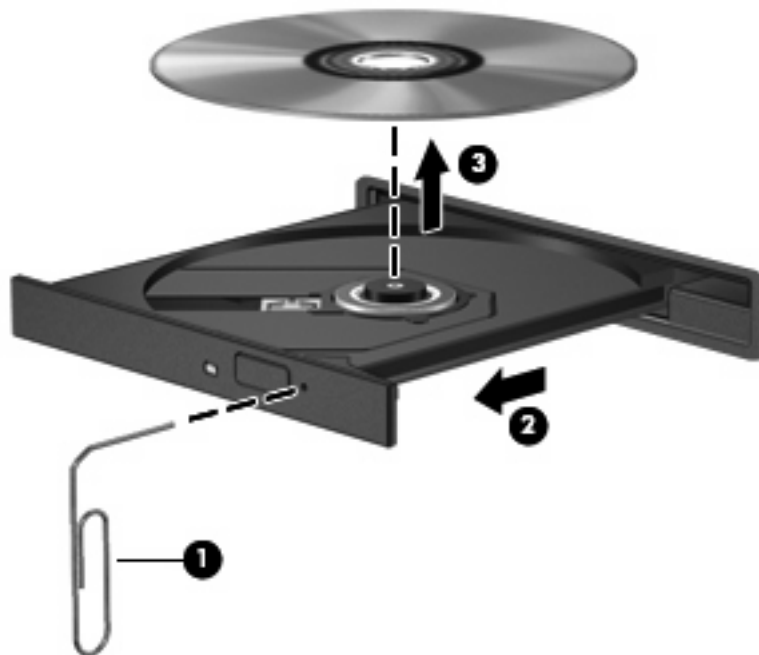
1. ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタン（**1**）を押してメディア トレイを開き、トレイをゆっくり完全に引き出します（**2**）。
2. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します（**3**）。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

注記： トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて取り出してください。

3. メディア トレイを閉じて、ディスクを保護ケースに入れます。

電源切断時のオプティカル ディスクの取り出し

1. ドライブのフロント パネルにある手動での取り出し用の穴にクリップ（**1**）の端を差し込みます。
2. クリップをゆっくり押し込み、トレイが開いたら、トレイを完全に引き出します（**2**）。
3. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します（**3**）。ディスクは縁を持ち、平らな表面に触れないようにしてください。

   注記： トレイが完全に開かない場合は、慎重にディスクを傾けて取り出します。

4. メディア トレイを閉じて、ディスクを保護ケースに入れます。

2 マルチメディア ソフトウェアの操作

お使いのコンピュータにはマルチメディア ソフトウェアがプリインストールされています。一部のモデルでは、付属のオプティカル ディスクに追加のマルチメディア ソフトウェアが収録されています。

コンピュータに搭載されているハードウェアおよびソフトウェアによっては、次のマルチメディアに関する操作がサポートされています。

- オーディオ CD、ビデオ CD、オーディオ DVD、ビデオ DVD、インターネット ラジオなどのデジタル メディアの再生
- データ CD の作成またはコピー
- オーディオ CD の作成、編集、および書き込み
- ビデオまたはムービーの作成、編集、および DVD またはビデオ CD への書き込み

注意： 情報の消失やディスクの損傷を防ぐために、次のガイドラインに従ってください。

ディスクに書き込む前に、コンピュータを、安定した外部電源に接続してください。コンピュータがバッテリ電源で動作しているときは、ディスクに書き込まないでください。

ディスクに書き込む前に、使用しているディスク ソフトウェア以外は、開いているすべてのプログラムを閉じてください。

コピー元のディスクからコピー先のディスクに、またはネットワーク ドライブからコピー先のディスクに直接コピーしないでください。まずコピー元のディスクまたはネットワーク ドライブからハードドライブにコピーし、その後でハードドライブからコピー先のディスクにコピーしてください。

ディスクへの書き込み中にキーボードを使ったり、コンピュータを移動したりしないでください。書き込み処理は振動の影響を受けやすいためです。

注記： コンピュータに付属のソフトウェアの使用方法について詳しくは、ソフトウェアの説明書を参照してください。説明書はディスクまたは該当するプログラム内のヘルプ ファイルとして提供されます。ソフトウェアの製造元の Web サイトから説明書を入手できる場合もあります。

プリインストールされたマルチメディア ソフトウェアを開く

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]**の順に選択します。
2. 起動するプログラムをクリックします。

ディスクからのマルチメディア ソフトウェアのインストール

1. ディスクをオプティカル ドライブに挿入します。
2. インストール ウィザードが開いたら、画面上のインストール手順に沿って操作します。
3. 画面に指示が表示されたら、コンピュータを再起動します。

マルチメディア ソフトウェアの使用

1. **[スタート]→[すべてのプログラム]**の順に選択し、使用するマルチメディア プログラムを開きます。たとえば、Windows Media Player でオーディオ CD を再生する場合、**[Windows Media Player]**をクリックします。

   注記： プログラムがサブフォルダに存在する場合もあります。

2. オーディオ CD などのメディア ディスクをオプティカル ドライブに挿入します。
3. 画面の説明に沿って操作します。

-または-

1. オーディオ CD などのメディア ディスクをオプティカル ドライブに挿入します。

   [自動再生]ダイアログ ボックスが開きます。

2. タスク一覧でマルチメディア タスクをクリックします。

再生の中断の予防

再生が中断される可能性を低減するには、以下の点を確認してください。

- CD または DVD を再生する前に作業を保存し、開いているすべてのプログラムを閉じます。
- ディスクの再生中は、ハードウェアの取り付けまたは取り外しを行わないでください。

ディスクの再生中にハイバネーションまたはスタンバイを起動しないでください。 起動すると、続行するかどうかを確認する警告メッセージが表示される場合があります。 このメッセージが表示されたら、**[いいえ]**をクリックします。 [いいえ]をクリックすると次のようになります。

- 再生が再開します。

  -または-

- 再生が停止して画面が消去されます。CD または DVD の再生に戻るには、電源ボタンを押してディスクを再起動します。

DVD 地域設定の変更

著作権で保護されているファイルを使用する多くの DVD には地域コードがあります。地域コードにより著作権は国際的に保護されます。

地域コードがある DVD を再生するには、DVD の地域コードが DVD ドライブの地域の設定と一致している必要があります。

注意： DVD ドライブの地域設定を変更できるのは 5 回までです。

5 回目に選択した地域の設定が DVD ドライブの最終的な設定になります。

ドライブの地域の残り変更可能回数が**[DVD 地域]**タブの[残り変更回数]ボックスに表示されます。このフィールドに 5 回目に指定された値が最終的な設定になり、以後変更はできません。

オペレーティング システムで設定を変更するには、次の操作を行います。

1. **[スタート]**→**[マイ コンピュータ]**の順に選択します。
2. ウィンドウを右クリックし、**[プロパティ]**→**[ハードウェア]**タブ→**[デバイス マネージャ]**の順に選択します。
3. **[DVD/CD-ROM ドライブ]**の隣の[＋]記号をクリックし、地域設定を変更する DVD ドライブを右クリックします。次に**[プロパティ]**をクリックします。
4. **[DVD 地域]**タブで地域を変更します。
5. **[OK]**をクリックします。

著作権に関する警告

コンピュータ プログラム、フィルム、放送内容、録音内容などの著作権により保護されたものを許可なしにコピーすることは、著作権法違反です。このコンピュータをそのような目的に使用しないでください。

索引